

大井川取組状況一覧

資料2

○:実施予定 ●:実施済み (以下同様)
H28.5の取り組み方針作成時の状況を示します。

○概ね5年間で実施する取組

具体的な取組の柱	事項	主な内容	目標時期	実施する機関										地域住民	平成28年度取組実績	平成29年度取組予定	
				国	県	市	島田	焼津	藤枝	原之	牧之	吉田	本川町				根
大井川 大規模氾濫に関する減災対策協議会	協議会・幹事会の開催	毎年出水期前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
志太原地域 豪雨災害減災協議会	協議会・幹事会の開催	適時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					

1)ハード対策の主な取組

■土砂を含む流れの速い洪水を河川内で安全に流す対策																		
①浸透対策(堤防の質的強化) ②流下能力対策(堤防整備、河道掘削) ③河岸低水侵食・洗掘対策(低水護岸整備)	・堤防整備、河道掘削、河川改修等	引き続き実施	●静岡 河川														引き続き実施	引き続き実施
■危機管理型ハード対策																		
①天端の保護	・天端の保護	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川														平成28年度完了	
■被害軽減のための迅速かつ的確な避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
①「避難行動や水防活動の基準となる雨量・水位等の観測データ」「洪水時の状況」の把握及び情報を伝達するための基盤整備	・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備	引き続き実施	●静岡 河川	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	引き続き実施	引き続き実施
②堤防監視の効率化並びに水防団等の連携支援の取組として、急流土砂河川であり河岸侵食や洗掘が多く発生しているため、堤防監視の効率化として簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	平成28年度から順次 実施	●静岡 河川														引き続き実施	引き続き実施
③迅速な水防活動を支援する新技術を活用した水防資機材の配備検討及び訓練	・水のう等の配備検討 ・水のう等の活用訓練の検討	平成29年度から順次 実施	○静岡 河川		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成28年度から実施	引き続き実施
④決壊等が発生した場合、被害を最小限に抑えるため、迅速に水防活動及び緊急復旧活動を行う拠点として河川防災ステーション等の整備	・河川防災ステーション等の整備	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川														平成28年度から実施	引き続き実施
⑤大井川の健全な流砂系を保つための「大井川総合土砂管理計画」の検討	・大井川総合土砂管理計画の整備・検討	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川														平成28年度から実施	引き続き実施

2)ソフト対策の主な取組 ①迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

■平時から住民等への周知・教育・訓練																		
①想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域の策定・公表	・洪水浸水想定区域図・氾濫シミュレーションの策定・公表	平成28年度出水期 前	○静岡 河川	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	平成28年度完了	
②想定最大規模降雨を対象とした氾濫シミュレーションの作成・公表	・氾濫シミュレーションの作成・公表	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	平成28年度から実施	平成29年度完了予定
③想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域を基にした洪水ハザードマップの作成・周知	・洪水ハザードマップの作成・周知	平成28年度から順次 実施			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	活用		平成28年度から実施	引き続き実施
④地域住民(自主防災組織を含む)及び小・中・高等学校への水災害教育の実施	・市町内小・中・高等学校の総合学習事業の中で、水災害教育に取り組み、事前講座の実施	引き続き実施	●静岡 河川 ●気象台	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	参加	引き続き実施	引き続き実施
⑤「水防災意識社会」再構築に役立つ啓発資料の作成(パンフレット、副読本等)	・住民目線のわかりやすく利用しやすい啓発資料の作成	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川 ○気象台	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	活用		平成28年度から実施	引き続き実施
⑥関係機関と協力・連携した普及啓発活動の実施(出前講座、ワークショップ等)	・各機関が実施してきた講師派遣やイベントに相互協力・支援を行い、普及啓発に取り組んでいく	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川 ○気象台	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	活用		引き続き実施	引き続き実施

大井川取組状況一覧

資料2

○:実施予定 ●:実施済み (以下同様)
H28.5の取り組み方針作成時の状況を示します。

○概ね5年間で実施する取組

具体的な取組の柱	事項	主な内容	目標時期	実施する機関										地域住民	平成28年度取組実績	平成29年度取組予定
				国	県	市	島田市	焼津市	土肥町	藤枝市	原之町	吉田町	本川町			
大井川 大規模氾濫に関する減災対策協議会	協議会・幹事会の開催	協議会・幹事会の開催	毎年出水期前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	志太橋原地域 豪雨災害減災協議会	協議会・幹事会の開催	適時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			

2)ソフト対策の主な取組 ②逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■情報伝達の強化、避難計画等の策定

①タイムラインの検証並びに改善に向けた見直しの検討	・現在のタイムラインを検証し、見直しを図っていく	平成28年度から順次実施	○静岡河川 ○気象台	○	○	○	○	○	○	○	○	○			平成28年度から実施	引き続き実施
②上記①のタイムラインを踏まえた水害対応チェックリストの検証並びに改善検討	・現在策定した水害対応チェックリストの検証、改善の検討を行う	平成28年度から順次実施	○静岡河川 ○気象台	○	○	○	○	○	○	○	○	○			平成28年度から実施	引き続き実施
③河岸侵食や洗濯により決壊が予想される場合のタイムラインの策定	・河岸侵食や洗濯による場合のタイムラインの策定	平成28年度から順次実施	○静岡河川		○	○	○			○					平成28年度から実施	引き続き実施
④気象庁HPにて、気象情報の「危険度の色分け」や「警報級の現象」をわかりやすく情報提供	・警報等における危険度の色分け表示「警報級の現象になる可能性」の情報提供・メニュー情報の充実化	平成28年度から順次実施	○気象台	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用		平成28年度から実施	平成29年度完了予定
⑤発表の対象区域や避難の切迫性等が首長や住民に確実に伝わる洪水予報文、伝達手法の改善	・洪水予報文、伝達手法の改善	平成28年度から順次実施	○静岡河川 ○気象台	共有	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用		平成28年度完了	
⑥洪水対応情報伝達演習の実施	・情報伝達の相手先・手段・内容等を確認するための洪水対応演習を実施	引き続き実施	●静岡河川 ●気象台	●	●	●	●	●	●	●	●	●			引き続き実施	引き続き実施
⑦首長等と静岡河川事務所長とのホットラインの連絡訓練	・緊急時を想定した首長等と静岡河川事務所長とのホットラインの連絡訓練	平成28年度から順次実施	○静岡河川			○	○	○	○	○	○				平成28年度から実施	引き続き実施
⑧要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練の促進	・計画が未作成、訓練が未実施の機関に対して作成・実施を呼びかける	平成28年度から順次実施				○	○	○	○	○	○	○	参加		引き続き実施	引き続き実施
⑨洪水に關してのロールプレイング等の実践的な本部運営訓練や避難訓練の実施	・洪水に關してのロールプレイング等の実践的な避難訓練の実施	平成28年度から順次実施		○	○	○	○	○	○	○	○				平成28年度から実施	引き続き実施
⑩きめ細やかな情報連絡・情報共有を密にするための情報連絡室(関係機関との情報ネットワーク(階層別連絡網))の改善	・情報連絡室(関係機関との情報ネットワーク(階層別連絡網))の改善	平成28年度から順次実施	○静岡河川 ○気象台	○	○	○	○	○	○	○	○				平成28年度から実施	引き続き実施
⑪洪水時のCCTVカメラによる堤防監視、施設監視の強化	・CCTVカメラによる堤防監視、施設監視の強化	平成28年度から順次実施	○静岡河川	共有	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用				平成28年度から実施	引き続き実施
⑫避難勧告・指示の発令対象エリアと発令順序等の検討	・避難勧告・指示の発令対象エリアと発令順序等の検討の実施	平成28年度から順次実施			○	○	○	○	○	○	○				平成28年度から実施	引き続き実施
⑬避難行動を円滑に進めるため「大井川総合土砂管理計画」を検討(河床高等の監視)	・大井川総合土砂管理計画の検討	平成28年度から順次実施	○静岡河川												平成28年度から実施	引き続き実施
①住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やブッシュ型情報の発信・普及活動の実施	・スマートフォン等を活用したリアルタイム情報提供やブッシュ型情報の普及活動の実施	平成28年度から順次実施	○静岡河川 ○気象台	○	○	○	○	○	○	○	○	活用			平成28年度から実施	引き続き実施
②避難情報に関する意見交換会の実施	・避難情報に関する関係機関による意見交換会を行い、情報交換・情報共有等の実施	引き続き実施	●静岡河川 ●気象台	●	●	●	●	●	●	●	●				引き続き実施	引き続き実施

大井川取組状況一覧

資料2

○:実施予定 ●:実施済み(以下同様)
H28.5の取り組み方針作成時の状況を示します。

○概ね5年間で実施する取組

具体的な取組の柱	事項	主な内容	目標時期	実施する機関										地域住民	平成28年度取組実績	平成29年度取組予定			
				国	県	市	島田	焼津	土	原	枝	市	之				吉	田	本
大井川 大規模氾濫に関する減災対策協議会	協議会・幹事会の開催	協議会・幹事会の開催	毎年出水期前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	志太橋地域 豪雨災害減災協議会	協議会・幹事会の開催	適時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		

2)ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減のための迅速な水防活動・排水活動の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

①消防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	引き続き実施			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		引き続き実施	引き続き実施
②関係機関が連携した実働水防訓練、重要水防箇所等の合同点検の実施	・実働水防訓練の実施 ・重要水防箇所等の合同点検の実施	引き続き実施	●静岡 河川	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	参加	引き続き実施	引き続き実施
③地域住民や消防団等が参加する水害リスクの高い箇所 の共同点検の実施	・消防団等、自治体及び地域住民が参加し、 水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	引き続き定期的に実 施	●静岡 河川	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	参加	引き続き実施	引き続き実施
④水防組織の維持のため、消防団等への入団促進、消 防団等に対する水防技術の伝承のための教材を作成 し、団員や小中高等学校への普及啓発活動の実施	・消防団等に対する水防技術の伝承のため の教材の作成 ・団員や小中高等学校への普及啓発活動の 実施	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		平成28年度から実施	引き続き実施
⑤迅速な水防活動を支援するためのスマートフォン等 を活用したリアルタイム情報の提供やブッシュ型情報等の 普及活動を実施	・スマートフォン等を活用したリアルタイム情 報の提供やブッシュ型情報等の普及活動を 実施	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		平成28年度から実施	引き続き実施
⑥消防団等の監視支援のためにCCTVカメラ映像の提 供	・消防団等の監視支援のため、CCTVカメラ 映像の提供	引き続き実施	○静岡 河川	共有	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用	活用		引き続き実施	引き続き実施
⑦迅速かつ的確な水防活動のために消防団等との意見 交換会を実施	・消防団等との意見交換会	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—	平成29年度から 順次実施
⑧迅速かつ的確な水防活動のために土のラステージ ン(備蓄砂置き場等)の設置	・土のラステーション(備蓄砂置き場等)の設 置	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		—	平成29年度から 順次実施

■排水計画(案)の見直し及び排水訓練の実施

①氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画 (案)の見直し	・排水計画(案)を見直しの実施	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		平成28年度から実施	引き続き実施
②排水計画(案)に基づく排水訓練及び関係機関との合 同訓練等の実施	・排水訓練の実施	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		平成28年度から実施	引き続き実施
③堤防決壊時の対応(情報伝達、復旧工法の検討、排 水計画の検討など)を演習することを目指す、堤防決壊 シミュレーションの実施	・堤防決壊時の対応演習(情報伝達、復旧工 法の検討など)	引き続き実施	●静岡 河川															引き続き実施	引き続き実施

■ダム等の危機管理型の運用方法の高度化の実施

①洪水時のダム操作高度化に対する検討	・異常洪水時、防災操作時において洪水時 最高水位(サーチャージ水位)を超過するダ ム操作規則の変更	平成28年度実施	○長島 ダム															平成28年度から実施	引き続き実施
--------------------	---	----------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------------	--------

※公表済みの取り組み方針から変更している箇所

① 逃げ遅れゼロの取り組み。■情報伝達の強化、避難計画等の策定 ⑨ 地域住民は「参加を検討」としていたが、行政職員による演習のため地域住民の参加は削除。